

令和３年度～令和４年度 議 会 改 革 の ま と め

NO	分 類	テ ー マ	主な改革理由	結 論 等	申し合わせ 事項の改正	委員会条 例・会議規 則等の改正
1	先例・申 し合わせ に係る事項	議会運営委員会 の運営等につい て	①全会一致原則の見直し ②委員外議員の発言	議論を重ね全会一致を目指すことを原則としていく。		
		陳情の扱いに ついて	陳情を政策提案と位置付け、 委員会で協議が整った場合、 議会提案としてまとめる。	様々な課題があるため現行どおりとする。		
		議員提出議案の 扱いについて	閉会日に議案上程を可能とす ること。	意見書案・決議案の扱いと同等とする。	○	○
		意見書案・決議 案の扱いについ て	全会一致原則についての申し 合わせを見直す。	和光市議会申し合わせ事項 7 の但し書きの追加。（但し、合意が得られなかった意見書 案については、会議規則で定める提出者等の要件を満たしていれば、本会議に提出する ことができる。意見書案等の提出については、一般質問 3 日目終了後に開催する議会運 営委員会に提出するものとする。）	○	○
		一般質問につい て	・ 質問時間の変更 ・ 一般質問発言通告書の提出 後の修正を認める。	和光市議会申し合わせ事項 5 の変更。試行として R 4 年度、3 月・9 月定例会は 3 0 分、6 月・1 2 月定例会は 4 0 分以内とし、R 5 年 3 月定例会後に決定する。	○	
2	議会 P R の手法	議会広報につい て	新たな編集委員会の設置及び 議会単独での発行とする。	現行どおりとする。		
		議会報告会につ いて	あり方の検討、会議アプリの 活用等。	W e b 等を活用しながら市民との意見交換を中心に行っていく。		
3	設備の 改善	議会図書室につ いて	図書室機能の向上と拡充を図 る。	議会図書室を積極的に活用していく。		
		バリアフリー化 について	議場、議会運営でのバリアフ リー化。	他市等を参考に可能な部分からバリアフリー化を実施していく。		
4	議会の I C T 化 について	I C T 化	①タブレットの導入、議案等 のペーパーレス化 ②オンライン会議の拡充 ③本会議等のオンライン 生中継	①早期導入を目指し執行部と調整していく。 ②会議規則、委員会条例の一部改正を実施。 ③本会議ライブ中継を令和 4 年 1 2 月定例会から実施。		○ (②)
5	条例の改 正	反問権の付与に ついて	基本条例第 6 条第 3 項の内 容、範囲の見直し。	反問権付与についての反対意見はなかったが、先進事例等の調査研究が必要なため議会 基本条例の改正には至らない。改選後の議会に申し送りをしていく。		
		議員報酬の見直 しについて	議員報酬等の見直し。	職員給与等に関する人事院勧告を踏まえ、議会から市長へ報酬等審議会への諮問要求を 行っていく。		
6	研修等の 充実	議員研修につい て	法令、条例、会議規則の研修	議員研修内容について検討していく。		
		新たな評価手法 の導入・議会の 見える化	趣旨説明	先進視察や今後の研修課題として検討していく。		